

別記様式第3号（第6条関係）

会 議 記 録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市廃棄物減量等推進審議会		
開催日時	令和4年8月29日(月) 14:00-16:00		
開催場所	近江八幡市役所南別館 教育委員会2階 会議室		
出席者 ※会長◎ 副会長○	<p>出席者（敬称略）</p> <p>審議会委員</p> <p>◎奥田 哲士 ○和田 有朗 ○水原 詞治 ・西 保雄 ・丹波 喜徳 ・吉田 栄治 ・西村 則子 ・矢野 すみ子 ・木田 幸司</p> <p>事務局</p> <p>市民部長 田村 裕一</p> <p>環境課 次長 杉 貞行（兼環境課長） 参事 中嶋 武志 副主幹 村岡 亘 主事 漁野 智</p>		
次回開催予定	令和4年10月以降		
問い合わせ先	<p>所属名：市民部 環境課</p> <p>担当者名：漁野</p> <p>電話番号：0748-36-5509</p> <p>メールアドレス：010602@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録・ 要約	要約した理由	長時間の会議につき、内容を整理したため
内容	<p>○副会長の選出</p> <p>規則に従い会長が副会長を指名。</p> <p>会議内容</p> <p>○令和3年度のごみ排出量について</p> <p>令和4年3月改訂の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に令和3年度速報値を反映し作成した。</p>		

委員からの主な意見

・最終処分計画は環境アセスメントや民間委託等もあるため早期に検討しなければならない。

・し尿処理施設から発生する脱水汚泥を堆肥化し肥料としてリサイクルする取組について、供給先販売ルートの確保が非常に難しいという状況は分からないことはないが、近江八幡としてできればモデルケース作りをJAと連携しながら、一歩前進をご検討頂ければありがたい。

・事業系ごみの減り方を見ると、産業廃棄物と一般廃棄物の適正な仕分けが進んだ結果ではないか。

○令和4年度7月末現在のごみ量速報について

年度末で判明する数値や、毎月把握できない数値があるため、月別で比較可能な数値での比較として作成した。

委員からの主な意見

・目標を下回っているが、多分コロナ禍で事業活動が短期的に減少しているが今後の復活が予想されると楽観視できない。

○今後の審議会の活動について

委員からの主な意見

・生ごみ処理器に携わる方を増やし、その分生ごみを減らす。今、コロナ禍でその効果が数字として見えにくいので来年度再来年度の結果を見て数字を精査してから、さらにそこを押すのか他のことを考えても良いのではないか。

・新しいごみ処理基本計画ができ数ヶ月経過し始まったばかりなので、部会を設けて色々な会議をして意見を報告しても良いのではないか。現段階で取り組む課題があり優先順位を持って当たっているという状況ですので、一通り大きいところはやってみて次の段階ということになる。

	<p>・不要なものを購入しない、お野菜も葉っぱまで料理してごみに回さないように使い尽くす。そういうところに広がれば、ごみ袋に入れるごみの量は減る。同じ生活維持のためにも必要としながら広報等も含め、もったいないの精神で物価高を乗り越えましょうというところが打ち出せば良いのではないか。</p>
--	---